

景気悪化から市民の雇用・暮らしを守る市政へ！

二月市議選で五人の市議団を実現した党議員団は、三月市議会で代表質問に中道浪子議員、総括質問に笠原寅一議員・長谷川薫議員・近藤好枝議員が立ち、請願の賛成討論を小林久子議員が行いました。また、予算審査では四常任委員会でご全議員が奮闘しました。

雇用確保と中小企業支援を

急速な景気悪化で市内の雇用情勢は深刻さを増しています。雇用対策や中小企業支援は市政の重要な課題です。中道議員は「少なくとも市内の誘致企業には雇用維持を要請すべき。派遣切りされた労働者への生活資金貸付や市営住宅への入居を支援すべき」と求めました。

に二三五名の雇用を創出した」と答弁しました。また笠原議員は「市が発注する公共事業の身を、生活道路の整備や老朽化した橋の補修・小中学校の校舎や体育館の耐震補強など生活密着型の事業に切り替えるべき」と求めました。当局は「今後も地元中小企業に発注する公共事業を増やしたい」と答弁しました。

長谷川議員は「市営住宅の修繕・エレベーター設置や南橋団地の建て替え事業のスピードアップ」などを求めました。また、近藤議員は「小規模修繕工事登録制度の発注が、五〇万円以下の市の修繕工事の発注額の三％にとどまっているので発注額を増やすべき」と改善を求めました。当局は、いずれも「改善の努力をする」と表明しました。



ぐんま派遣村で相談者の健康診断を行うボランティア

ぐんま派遣村に 百人を超す相談者

雇用情勢の悪化に伴い、派遣切りにより職や住まいを失った人たちを支援しよう」と企画された「ぐんま派遣村」が三月二十六日に前橋公園で行われました。炊き出しや専門家

による相談活動には医療や法律、労働関係者などのボランティア三二五人が参加し、百人を超す相談者に親身に応えていました。前橋市にはホームレスの人など一七人が生活保護の申請をしました。党市議団は、議会でホームレスなど手持ち金がない状態で生活保護を申請したときは、公園などの現在地で申請を受理し、住居の確保や当面の生計維持のための貸付金などの制度をただちに作るよう迫りました。

住民と党市議団が力を合わせ 介護保険料引き下げ実現

介護保険料の引き下げが、四月一日から、一人平均・年間四、一〇〇円（八・四％）引き下げになり、党市議団の公約が実現し、市民も喜んで

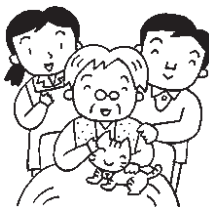
います。昨年来、中道議員が議会で繰り返し取り上げ、「この三年間で生まれた十七億円の黒字分を高齢者に返すべき。介護保険料を引き下げよ」と求め続けてきました。

運動に取り組み、三月議会に提出しましたが、党市議団以外の会派はすべて請願に反対しました。さらに、国保税の引き下げや、ばら園の有料化反対・学校の給食費値上げの中止を求めましたが、市長は、市民の

前工団の赤字埋め 合わせに16億円

工業・住宅団地の造成分譲をしている前橋工業団地造成組合は、計画通りの分譲が

すまない為、百七億円の借金が増えています。ところが三月議会に国の財



切実な願いに応えようと思いませんか。

市民要求の実現めざし奮闘します



近藤好枝議員 小林久子議員 長谷川薫議員 笠原寅一議員 中道浪子議員

※ご意見、ご要望をお寄せ下さい。

無料法律・生活相談

毎週金曜日10～12時
市議団控室 予約を

中道 浪子 (261)4355
笠原 寅一 (263)0688
長谷川 薫 (234)5326
小林 久子 (283)6756
近藤 好枝 (283)8123

日本共産党

市議団だより

No. 211 2009.4.28 発行・日本共産党 前橋市議会議員団
〒371-8601 前橋市大手町2-11-1 前橋市下小出町2-16-7 日本共産党前橋勢多地区委員会 気付
前橋市議会内 日本共産党控室 ☎027-232-1561 FAX. 027-232-1569
☎027(224)1111 内線2341 URL http://www.jcp-maebashi.gr.jp/

こどもの教育と地域医療を守れ！

二中、四中、金丸分校などの 統廃合計画は中止を！

市教委は昨年八月、「小中学校の適正規模・適正配置基本方針」を決めました。

市教委は昨年八月、「小中学校の適正規模・適正配置基本方針」を決めました。クラス数が適正ではないとする小中学校十五校と分校一校を九校に、中学校四校を二校に統合し、学校数を一〇校減らす方針です。二中、四中、滝窪小金丸分校については、今年度中の統廃合の決定をめざしており、学校とPTA・地域代表で構成された地区委員会をすでに立ち上げています。あるPTA役員は「こんな大事なことを短期間で決めるべき



統廃合対象校の二中

日赤病院の建て替えは慎重に！

前橋赤十字病院の建て替え検討審議会（前橋市長・高崎市長・県医師会など十六人構成）は、「移転新築」の方向を打ち出しました。

笠原議員は、昨年の十二月市議会で、日赤病院と救急救命センターは現地に残してほしいという請願を可決し

た経過を踏まえて、郊外への移転ではなく、現在地での建て替えの可能性を追求することを強く求めました。

高木市長は、「日赤病院側の意向を尊重したい」という答弁で、現在地建て替えの検討を病院に十分行うよう求める姿勢には立っていま

せん。

病院側は、三月に「審議会」の結論に基づき中川地区の地元説明会を開催しましたが、参加者からは移転反対の声が多数だされました。党市議団は、市民の意見を尊重して結論を出すよう今後も求めていきます。

群馬中央病院は 公的病院として存続を



市に要請する病院労組代表

四月十二日、健康保険病院労組群馬中央総合病院（桑原恵子支部長）は、「社会保険群馬中央総合病院・同介護老人保健施設を

公的な施設として存続をすること、民間法人等に個別に譲渡するのではなく、すべての施設を全国ネットワークで存続を」と要請しました。

対応した市総務部長と健康部長は、「県とも協議し、存続のために努力したい」と答えました。この要請には党市議団も同席しました。

日本共産党提出の意見書に対する各会派の態度

件名	共産党	清クラブ	新真政会	市民フォーラム	公明党	真澄会	市民の会	心世紀	民主党
1 雇用対策の強化についての意見書	○	×	○	○	×	×	×	×	○
2 誰もが安心して利用できる介護保険制度の抜本的見直しを求める意見書	○	×	×	×	×	×	×	×	×
3 障害者自立支援法改正案の充実を求める意見書	○	×	×	×	×	×	○	×	×
4 汚染米不正流通の実態解明とミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書	○	×	×	×	×	×	×	×	×
5 在日米軍再編に伴う在沖繩米海兵隊のグラム移転経費支出中止に関する意見書	○	×	×	×	×	×	×	×	×
6 2011年の地上アナログテレビ放送の打ち切りを延期するよう求める意見書	○	×	×	×	×	×	×	×	×

支所の産業課存続・悪臭被害対策・ 保育料引き下げなどの請願採択に全力

他会派が
不採択主張

三月議会は、群馬化成の悪臭対策、介護保険料の引き下げと市独自サービスの拡充、保育料引き下げ、三支所の産業課の存続等七本の請願が提出されました。党市議団は紹介議員になり採択に全力を尽くしましたが、他会派の反対により、すべての請願が不採択になりました。

支所の産業課
存続を

旧三町村との合併で前橋の農業生産額は全国十一位と大きく前進しました。今後の前橋の農業を維持発展していくには、産業課を支所に残し、きめ細かな営農指導を行うことが必要です。

日本共産党以外の会派は旧三町村選出の議員がいるにもかかわらず「産業課を廃止しても問題ない」と反対しました。小林議員は「東部建設事務所のように、三支所の産業課を統合してでも残すべき」と主張しました。